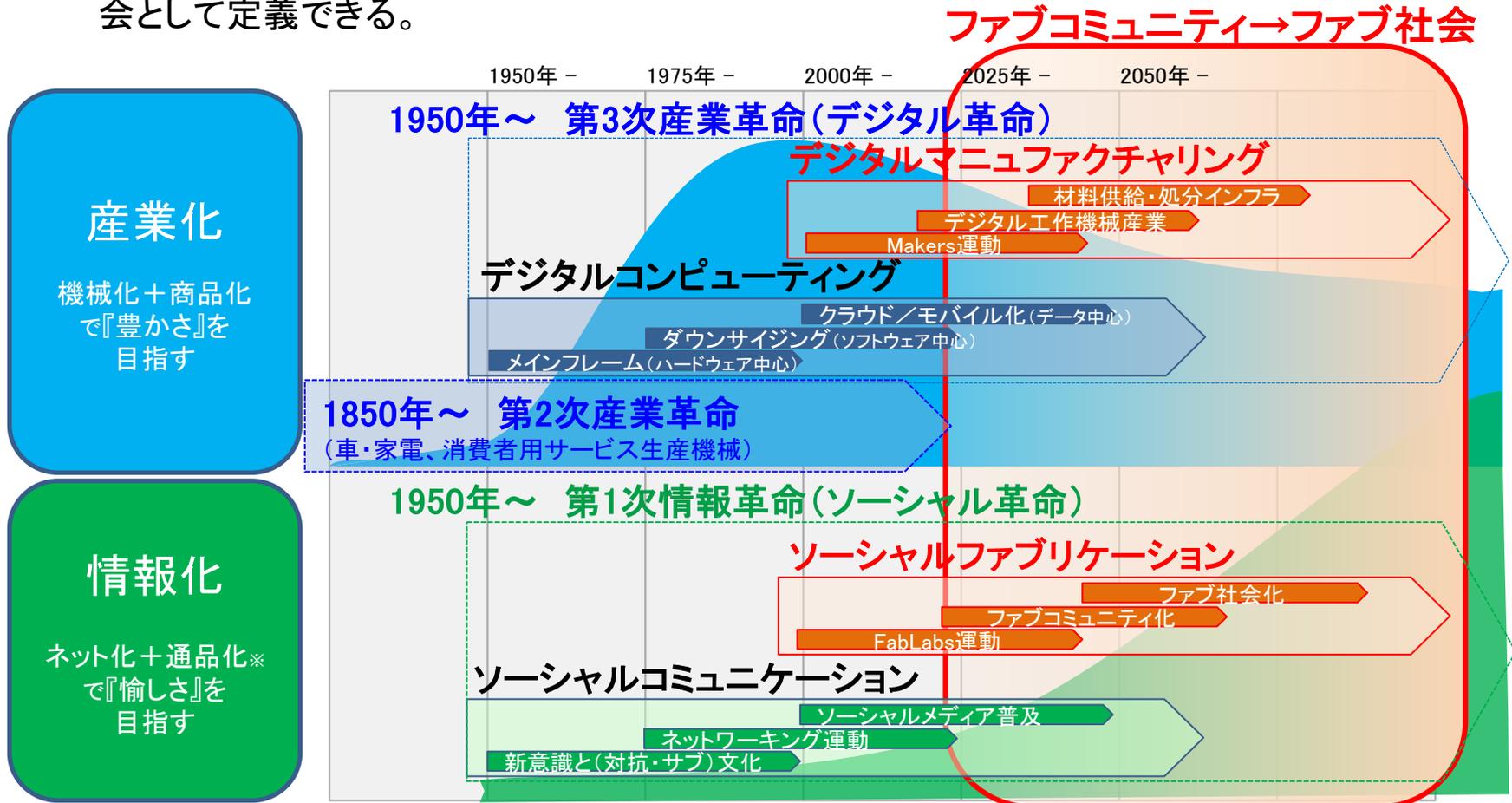


第1回議論の要点①

ファブ社会の位置づけ(基調講演の要旨)

- 社会の動きは、「産業化」と「情報化」の2つに分けて考える必要がある。
- ファブ社会は産業化の動きの「デジタルマニュファクチャリング」と、1950年より始まった、情報化の動きの「ソーシャルファブリケーション」の2つの流れが同時に起こっている社会として定義できる。



※通品化: 情報だけでなく、モノ・サービスがシェアされること。

公文氏プレゼン資料を元に編集

第1回議論の要点②

ファブ社会の範囲と影響 (議論で指摘されたこと)

- ファブ社会の出現は、個人の意識・価値観から社会インフラ・法律まで様々な影響があることが考えられる。

